

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第21週)

宮城県【平成25年05月30日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

- 2013.5.20 ~ 5.26 ・ 第21週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)				累計	第18週	第19週	第20週	第21週
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	患者数	患者数						
水痘	31 6.20	13 1.30	6 1.20	20 10.00	3 1.00	7 1.40	2 1.00	42 1.62	124 2.14	1,616	○ →	○ →	◎ →	◎			
流行性耳下腺炎	1 0.20	8 0.80		1 0.50		6 1.20		9 0.35	25 0.43	483	→	→	→	○			
百日咳											→	→	→				
感染性胃腸炎	45 9.00	67 6.70	13 2.60	20 10.00	30 10.00	56 11.20	16 8.00	333 12.81	580 10.00	9,170	◎ →	◎ →	◎ →	◎			
手足口病	1 0.20		4 0.80			2 0.40		4 0.15	11 0.19	191	→	→	→				
伝染性紅斑	5 1.00	2 0.20					3 1.50	7 0.27	17 0.29	201	→	→	→				
突発性発しん	8 1.60	8 0.80	8 1.60	3 1.50	3 1.00	1 0.20	4 2.00	25 0.96	60 1.03	716	レ →	○ →	○ →	○			
ヘルパンギーナ					13 4.33	5 1.00		1 0.04	19 0.33	40	→	→	→				
インフルエンザ	36 4.50	5 0.33	17 2.13		4 0.80	7 0.88	6 1.50	32 0.76	107 1.15	15,548	◎ →	◎ →	◎ →	◎			
咽頭結膜熱	3 0.60			5 2.50	3 1.00	1 0.20		9 0.35	21 0.36	347	→	→	→				
流行性角結膜炎		6 2.00	1 1.00					2 0.33	9 0.75	58	→	→	→				
急性出血性結膜炎											→	→	→				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25 5.00	16 1.60	7 1.40	8 4.00	4 1.33	32 6.40		31 1.19	123 2.12	2,356	◎ →	◎ →	◎ →	◎			
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→				
無菌性髄膜炎											→	→	→				
マイコプラズマ肺炎		2 2.00	3 3.00	1 1.00			2 2.00	2 0.40	10 0.83	397	→	→	→				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→				
RSウイルス感染症		2 0.20	1 0.20			2 0.40		1 0.04	6 0.10	227	→	→	→				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)			6	2	1	2	3									
	川崎病																
	不明発疹症							8									

## 今週の全数報告疾病

- \* 男児、女児は6歳未満
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
  - 大崎管内 男性1名(第15週)、女性1名
  - 石巻管内 男性1名
  - 気仙沼管内 男性1名
  - 仙台管内 男性1名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: レジオネラ症
  - 塩釜管内 男性1名
- 5類感染症: 後天性免疫不全症候群
  - 仙台管内 男性1名
- 梅毒
  - 塩釜管内 男性1名
- 風しん
  - 気仙沼管内 男性1名(第20週、臨床診断例)
  - 仙台管内 男性1名(第20週、検査診断例)
  - 女性2名(臨床診断例)

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告 (仙台市を含む基幹定点報告) 1例

## 今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

## 【水痘】

栗原管内で警報値を超えた。  
仙南管内で注意報値を超えた。

## 【風しん】

全国的な傾向と同様に、今週も20歳代を中心に流行は継続している。  
今後さらに流行の拡大が懸念されるので十分に注意が必要である。

## 【病原体検出情報】

～ 仙台医療センターウイルスセンター ～

	第19週採取分 (5.6～5.12)	第20週採取分 (5.13～5.19)	第21週採取分 (5.20～5.26)
RSウイルス	3件	5件	1件
アデノウイルス	4件	1件	0件

## 【水痘】

水痘は、水痘・帯状疱疹ウイルス(VZV)の初感染によっておこる急性の伝染性疾患である。  
季節的には、12～7月に多く、患者の多くは9歳以下の年齢であるが、成人が発症すると重症になる場合が多い。今週、栗原管内で警報値を超え、仙南管内で注意報値を超えたことから、注意が必要である。

## インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群											総数 (人)
	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	
2013年 第17週	23.5	30.9	22.6	5.1	1.4	3.7	4.6	3.7	0.5	2.3	1.8	217
第18週	27.7	29.5	20.5	5.4	4.5	7.1	0.9	0.9	0.9	0.0	2.7	112
第19週	18.9	24.4	27.6	3.1	3.9	8.7	4.7	2.4	1.6	3.1	1.6	127
第20週	19.8	38.8	17.2	1.7	6.0	5.2	4.3	0.9	2.6	2.6	0.9	116
第21週	13.1	41.1	22.4	6.5	2.8	4.7	1.9	5.6	0.0	0.9	0.9	107

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。  
宮城県: 51定点  
仙台市: 42定点  
合 計: 93定点

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第19週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では宮城県(6.61)、富山県(4.56)、福岡県(4.25)が多い。**RSウイルス感染症:** 報告数は388例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約80%を占めている。**咽頭結膜熱:** 報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。佐賀県(2.22)、富山県(1.03)、宮城県(0.94)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 報告数は増加した。富山県(4.86)、石川県(4.38)、新潟県(3.89)、鳥取県(3.89)が多い。**感染性胃腸炎:** 報告数は増加した。大分県(18.44)、新潟県(15.03)、島根県(13.35)が多い。**水痘:** 報告数は増加した。宮城県(3.25)、愛媛県(3.24)、沖縄県(3.24)が多い。**手足口病:** 報告数は増加した。沖縄県(3.94)、島根県(3.26)、福岡県(2.53)が多い。**伝染性紅斑:** 報告数は増加した。富山県(0.93)、新潟県(0.39)、岩手県(0.38)が多い。**百日咳:** 報告数は増加した。大分県(0.06)が多い。**ヘルパンギーナ:** 報告数は増加した。滋賀県(0.41)、佐賀県(0.35)、山口県(0.30)が多い。**流行性耳下腺炎:** 報告数は増加した。秋田県(0.97)、岩手県(0.90)、福井県(0.82)が多い。**マイコプラズマ肺炎:** 報告数は2週連続で減少した。富山県(2.60)、沖縄県(1.57)、青森県(1.50)が多い。